

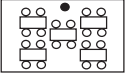
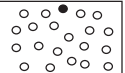
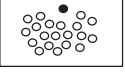
(部分・責任)実習 指導計画

実習指導者

印

実習生氏名

印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 (△)		場 所	保育室
主な活動 (題材)	ゲーム遊び (めんこでゲーム)	実習 クラス	(5)歳児 (ぞう)組 男児(10)名 女児(10)名 計(20)名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	グループ活動が増えてきたことで、友達に意識を向ける姿や困っている友達に声をかけたり助けてあげようとする姿も見られるようになってきた。また、体を動かして遊ぶことが大好きなクラスで、自由時間になると、鬼ごっこやボール遊び等、子ども同士で楽しく遊ぶことができるようになってきた。ルールを自分たちで考えて独自のルールで遊んだりすることもできつつある。また、縄遊びや鉄棒遊びなどでは、順番を待つことができるようになってきている。	保育活動 のねらい	・めんこ遊びを通して、目標にめがけて投げることを楽しむ。また、牛乳パックめんこをうまく使って、床に置かれた折り紙めんこをひっくり返すことを楽しむ。 ・めんこ遊びのルールを理解して、友達と一緒に楽しむ。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	＜保育室＞ ●：保育者 ○：子ども 	○保育者の話を聞く ・保育者の呼びかけに気づき着席する。 ・保育者の説明を聞いて、めんこ作りとめんこ遊びをすることを知る。	・着席するよう声をかけ、全員が揃ったことを確認する。 ・事前に保育者が作っためんこを見せて、めんこを作ってみたい気持ちを膨らませるように楽しい雰囲気をつくる。 ・実際にめんこ遊びの見本を見せて、やりたい気持ちを高められるようにする。
10:10 (主活動) ※サブシ ート参照	＜準備物＞ ・見本用の牛乳パックめんこ1枚 ・白の牛乳パックめんこ (20枚+予備5枚) ・折り紙めんこ (60枚+予備10枚) ・折り紙めんこを入れる箱1個 ・黒のマジック20本+予備2本  	○めんこに絵を描く ・真っ白のめんこを受け取り、マジックで思い思いの絵を描く。 ・描き終えたらマジックを保育者のところへ持っていく。 ・友達とめんこを見せ合う。 ○めんこ遊びをする ・保育者によるめんこの見本を見て投げ方・遊び方のイメージをもつ。 ・折り紙のめんこを5枚ずつ受け取り、床において、牛乳パックのめんこを床に投げて、折り紙のめんこをひっくり返す。 ・何度も繰り返して遊ぶ。 ○2人組でめんこ遊びをする ・ペアの人を決めて、交互に投げ、2人で協力して全ての折り紙めんこをひっくり返す。 ○片づけをする ・牛乳パックめんこは自分のロッカーに、折り紙めんこは保育者のところへ持っていく。	・実際にめんこ遊びの見本を見せて、やりたい気持ちを高められるようにする。 ・事前に作った何も描いていないめんこマジックを1人ずつ机に置いて回る。 ・自分の好きな絵を描くように促す。 ・困っている子がいたら、「○○ちゃんの好きな食べ物(その他乗り物等)は何か？」等の質問をしながら、描くものを一緒に考える。 ・描けた子どもはマジックを保育者のところに持ってくるよう伝える。 ・描けた子ども同士で見せ合いをして待つように伝える。 ・机と椅子を片づけ、保育者のまわりに集まるように声をかける。 ・めんこ遊びのルールを説明する。 ・1人3枚ずつ、折り紙めんこを配布し、隣の人にぶつからないように広がって遊ぶように伝える。 ・うまく投げられない子どもには、「パチン」という音が聞こえるかな？と言いつつ、力強く投げられるようなアドバイスをする。 ・2人組で協力して全ての折り紙めんこをひっくり返すように伝える。 ・2人組ができていないか確認する。
10:25 (まとめ)		○感想を出し合い振り返りをする ・保育者のまわりに集まる。 ・楽しかったことを共有し、困ったこと等があった場合は、解決策を全員で考え合う。 ・うまくいったことやうまくいかなかったことを出し合い、どうすればうまく投げることができるのか、コツなどを出し合い次回につなげる。	・保育者のまわりに集まるよう声をかける。 ・感想を聞く。 ・困ったことがあった場合は、解決策を考えられるように全体に返すようにする。 ・次回は別の友達と2人組で行うことを伝え、期待感がもてるような終わりにする。
10:30			
自己振り返り・評価等	導入では、呼びかけに集まってくれない子どもがおり戸惑ったが、先生のフォローがあり始めることができた。子どもたちの前に立つと緊張をしまつてうまく言葉にできない部分もあったが、子どもたちが質問をしてくれたおかげで説明することができた。絵を描く時間に差が生まれてしまったので、早く終わった子どもに対する対応を事前に考えておく必要があった。牛乳パックめんこのサイズが少し大きすぎたので、子ども手のサイズに合わせてもう少し小さめにしてもよかった。折り紙めんこは小さくし過ぎたのではないかと不安に思っていたが、簡単にひっくり返すことができていた。子どもたちは大喜びをしていたのでうまくいったと感じている。今後は、子どもたちの習熟に合わせて折り紙めんこを大きくしてもいいかなと思う。焦ってしまつて一人ひとりの様子を見ることができなかったで、次回からは事前にしっかりとシミュレーションをして、もう少しゆとりをもって、子どもたち一人ひとりに声をかけることができるようにしたい。		